

Genius 4年生理科・社会 家庭学習レポート(第27回)
名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストを解き直す	
② 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
③ 宿題用テキストの基本問題Aと基本問題B	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は月(1)について学びました。

まずは月の名前と形をセットで覚えていくようにしましょう。

名前と形をセットで覚えた後は、月の満ち欠けの順番を確認していきましょう。新月→三日月→上弦の月→満月→下弦の月→26日の月の順番に満ち欠けをしていきます。新月からだんだんと右から満ちて、右から欠けていくように見えることを覚えておきましょう。また、新月から新月までの満ち欠けは約29.5日かかることも最低限覚えておきましょう。

月の満ち欠けが起こるのは、月が地球のまわりを約27.3日かけて公転しているため、太陽と月と地球の位置関係が変わるためです。地球から見て、月のどの部分が光って見えるのか、またその月の名前は何かを授業用テキストの15ページを見ながら、何度も確認しておきましょう。そして、次回の授業までに自分で満ち欠けの図が書けるようにしておきましょう。難しく考える必要はありません。月は反時計回りに公転しているので、新月から始めて、そこから反時計回りに満ち欠けの順にそって図を書いていけばよいだけです。図を書けるようにしておくと、次回の授業の理解がスムーズになります。

日食、月食が起きるときの、太陽と月と地球の位置関係も確認しておきましょう。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 第27回授業用テキストを読み直し、基本問題を解く前に少しでも覚える。	
② 第27回宿題用テキスト 書き込み教科書	
③ 第27回宿題用テキスト 基本問題A・B	
④ 第27回週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって余裕があればやりましょう。

	チェック
① 第27回宿題用テキスト 練習問題A・B	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 第27回発展問題	

担当より一言

今回から日本の産業別地理がスタートしました。

最初は「農業」です。みんなの食生活を支えている農業の特徴や課題について、学んでいきましょう。

今回は日本人の主食となる「米」がテーマでした。

主食とは言いましたが、昔にくらべると日本人は米を食べなくなってきています。食生活の洋風化でしたね。このことは、日本国内の米の生産だけでなく、日本の食料輸入などにも大きく関係しています。みなさんが今日食べたものを考えてみてください。日本のものばかりではないと思います。いろいろ調べてみてください。

昔から食べられてきた米ですが、かつてはお金の代わりとなった時代が長く続きました。そのため、米作りは日本のあらゆるところで行われてきて、現在でも47都道府県すべてで米は作られています。もともとは熱帯地域の作物である米が品種改良され、涼しいところで生産されているのも、日本人にとって大切な作物だったからです。

米作りは、前回の地形でも出てきた「平野」を中心におこなわれています。水をためる必要のある米作りは、水持ちのよい平野が向いているためです。東北地方や北陸地方の平野ではとくにさかんにおこなわれているので、米作りがさかんな都道府県だけでなく、平野についても覚えておきましょう。